

であいこうか

地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

畑のしだれ桜保存会会長 服部純一郎さん(信楽町畑)



地域のシンボル、樹齢400年のしだれ桜を区民全員で守る



畑の中心で400年もの間見守り続けてきた「畑のしだれ桜」。毎年花見シーズンには県内外から約1万5千人が訪れるというこの桜を守ろうと「畑のしだれ桜保存会」を結成し、現在2代目の会長を務める服部純一郎さん。同保存会が結成されたのは平成2年、現在は区の全世帯にあたる23世帯がすべて会員です。花見シーズンには朝早くから婦人会などが主となり地元で採れたよもぎを使いよもぎもちを近くの公民館で販売すると驚くほど売れるのだとか。また昨年、樹に負担がかかるのと

ことで取りやめにすることも考えたライトアップ。夜桜を楽しむにされている方々の声もあり、今年も光の加減の調整や時間を短縮し行うことを決めたそうです。服部さんは「広場に設けた寄進箱には花見に来られた方々から少しずつですが浄財の気持ちでいただけると思います。現在では花見ができる10日間程度が賄えるまでになりました。また意見を書いてもらえるように設けた芳名録には、来年もがんばってください。毎年来ていますが今年もすごく奇麗でした。嬉しかったことばかりが書かれ、区民全員で回覧してみんなが来年への励みにしています。」と笑顔で語っておられました。

地域のシンボル「畑のしだれ桜」、桜を通して地域がひとつにまとまる「畑区」。桜へ寄せる想いは誰よりも強い服部さん。その瞳には今年もきれいに咲き誇る美しいしだれ桜が見えました。いつまでも見る者の心を癒してくれるこの桜を守り続けてください。



保存会会長として桜を守り続ける服部さん



新しくなった憲章碑

水口中央公民館前の憲章碑がリニューアル

水口中央公民館前に設置されていた水口町民憲章碑が甲賀市民憲章碑として新しくなりました。旧憲章碑は平成9年に旧水口町内の同年会「二二三会」様から寄贈いただいたものでしたが、このたび市民憲章碑の改修へ



卒業証書授与を緊張した様子で待つ卒業生たち(市内の中学校で)

輝かしい未来へ羽ばたけ

～市内中学校で卒業式～

3月13日(火)、市内の6つの中学校で卒業式が行われました。少し肌寒い日となったこの日、卒業証書を授与された市内の993名の卒業生たち、3年間の中学校生活の思い出と、恩師や友だちとの別れに涙する姿も見られました。卒業生の皆さんには輝かしい未来が見えていることでしょう。それぞれの思い出を胸にこれからも大きく羽ばたいてください。

第2回 甲賀市美術展覧会 市内外から230点が揃う

第2回甲賀市美術展覧会が3月3日から11日の9日間、あいこうか市民ホールと碧水ホールで開催されました。部門は平面・立体・工芸・書・写真の5つで、市内外から230点の応募がありました。開催に先立って2月27日には審査が行われ、213点が入選されました。入選の中から部門別に最も優れた作品に市長賞が、特選として市議会議員賞、教育長賞、各報道機関からの賞が8点、佳作として13点の計31点が選出されました。最終日の11日には、あいこうか市民ホールで表彰式が行われ、受賞者には賞状と副賞が授与されました。受賞者は次の皆さんです。

- 【甲賀市長賞】**
日浅 順子(平面)
神崎 秀策(工芸)
藤田 真紅(書)
村上 重利(写真)
※立体部門は該当者なし
- 【甲賀市教育委員会教育長賞】**
池本たまき(平面)
小川 綺夢(書)
増井 和美(写真)
※立体、工芸部門は該当者なし
- 【京都新聞社賞】**
山中 清藍(書)
【びわ湖放送株式会社賞】
大野 秀子(書)
【産経新聞社賞】
白田 雅子(書)
【朝日新聞社賞】
田中 克彦(写真)
【佳作】
原 美耶子(平面)
馬野 悦子(平面)
森川 瀨津子(平面) 甲南町
松本 靖介(立体) 甲南町
- 【甲賀市議会議員賞】**
川尻真由美(平面)
石谷 珠芳(書)〔湖南市〕
福井忠市郎(写真)
※立体・工芸部門は該当者なし
- 【中日新聞社賞】**
片岡 貞子(平面)
- 【NHK大津放送局長賞】**
高井千代子(平面)〔湖南市〕
- 【読売新聞社賞】**
山際 博一(立体)
- 【毎日新聞社賞】**
奥村みな子(工芸)
- 【甲賀市教育委員会教育長賞】**
池本たまき(平面)
小川 綺夢(書)
増井 和美(写真)
※立体、工芸部門は該当者なし
- 【京都新聞社賞】**
山中 清藍(書)
- 【びわ湖放送株式会社賞】**
大野 秀子(書)
- 【産経新聞社賞】**
白田 雅子(書)
- 【朝日新聞社賞】**
田中 克彦(写真)
- 【佳作】**
原 美耶子(平面)
馬野 悦子(平面)
森川 瀨津子(平面) 甲南町
松本 靖介(立体) 甲南町
- 今村喜美子(工芸)
鶴田 章則(工芸)
猪飼 宜妙(書)〔湖南市〕
松岡 廣枝(書)〔湖南市〕
田代 紅彩(書)
柳田 松堂(書)
亀川 華心(書)
廣田 良二(写真)
柴田 聖也(写真)

以上 受賞おめでとうございます。



出来上がった料理の説明を受ける参加者

お茶に

新たな光を見た

3月6日(火)土山町の大澤公民館で生茶葉を使った創作料理試食会が行われました。これは地元の製茶会社である丸安茶業(株)が新たなお茶製品の開拓を試みようとして滋賀県立大学産学連携センターに協力を依頼し行われたものです。これまでお茶を使ったクッキーなどはありませんでしたが、生茶葉を使った料理は初めてです。この日は県立大学で食品・栄養学などを専門としている早川史子教授を講師に地元のお茶生産者などが生茶葉を使いパンやパスタなど9品目を完成させました。試食会では「もつと茶葉を入れ、お茶の味を強くするなどもう少し改良の余地がある」といった意見が出ました。今後も継続して試食会を行うことで、甲賀市のお茶の未来が期待されます。

えろうカッコイイ 女と男とって?



自らの体験談を話すパネラーの皆さん

3月4日(日)、忍の里プララで男女共同参画社会づくりフォーラムが開催されました。これは同実行委員会が主催したもので、オープニングには主に京都市などで子育て中の親への支援活動をしているグループ「Ring Ring」によるピアノ・二胡の伴奏に併せて「千の風になって」などの歌が披露されました。その後のパネルディスカッションでは、日本の育児休暇に対する意識の低さや、市民三千人を対象に行った男女共同参画に対するアンケート結果を基に意見交換が行われました。また、このフォーラムのテーマである「かつこいい」とはという質問に対して「お互いを思いやり、親子・家族・地域の絆を大切にする生き方が一番ですね。」とパネラーらは答えていました。

寄付

福祉のために

蟻田美代子 様

金100,000円

カナリヤコーラス様 金3,300円

「厚意に感謝しますとともに大切に使用させていただきます。」